

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和3年6月)

～緊急事態宣言の解除やワクチン接種の加速で、現状判断は上昇～

- 景気ウォッチャー調査・6月調査の近畿地域の結果は、現状判断が49.3と前月比で2か月連続の上昇となったが、指数は景気横ばいを示す50は36か月連続で下回った。一方、先行き判断は50.3と2か月連続の上昇となっている。
- 足元の景気については、6月21日以降、緊急事態宣言がまん延防止等重点措置に切り替わり、百貨店や大型商業施設、テーマパークなどの営業が再開された。飲食店等の酒類販売の制限や時短営業などは続いているものの、全体としてはやや上向く形となっている。都市部の往来も少し戻ったことで、コンビニなどの客足の改善にもつながっている。
- 特に6月以降、ワクチンの接種が加速したことが、企業や消費者の心理に好影響を与えている。とりわけ高齢者への接種が進んでいることで、百貨店などからは、高齢者の来店増を指摘する声が聞かれる。
- 一方、先行きについては、ワクチン接種による効果への期待が引き続き高い。百貨店やコンビニをはじめ、ホテルや旅行代理店などからも聞かれる。加えて、東京オリンピックの開催を控え、感染拡大への不安の声も大きい一方、様々なプラス効果に期待する声も少なくない。
- その傍らで、各種の資材や材料価格の上昇に対する懸念の声が増えている。いわゆるウッドショックのほか、原油相場の上昇などで材料価格が上昇する中、販売価格への転嫁が遅れることで、利益の圧迫に対する不安が広がっている。

「ワクチン接種」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	良くなる	百貨店(外商担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、富裕層の高齢者を中心に、購買意欲が大きく高まりつつある。
	やや良くなる	一般小売店[珈琲](経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、年配客の来店が目につき始めている。
		一般小売店[衣服](経営者)	・新型コロナウイルスのワクチンについては、高齢者だけでなく他の年代も打てるようになるため、状況は良くなると期待したい。
		一般小売店[家具](経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種がほぼ完了するため、景気が良くなる。
		百貨店(売場主任)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が済んだ客が、それを理由に久しぶりに来店するなど、接種が進めば、徐々に来客数が増えると予想される。
		百貨店(売場主任)	・今月は食品が好調に推移しているが、新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡って感染者数の減少が進めば、人流が戻るため、他の商材への波及が期待できる。
		百貨店(企画担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、来客数も増えると考えられる。今はコロナ禍により、遠方の客は高齢者を中心に来店を控えている。
		百貨店(マネージャー)	・高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が完了しつつあり、来客数が戻ってくると予想される。
		百貨店(売場マネージャー)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、現状よりも感染状況が改善されていることを前提とすれば、景況感は良くなることが予想される。
		百貨店(販売推進担当)	・実店舗の営業は苦戦しているが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、世の中の動きが前向きな方向に変れば、徐々に回復が進む。
百貨店(外商担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種がかなり進んでおり、高齢者に限ればかなりの接種率になる見込みである。高齢者が主要な客である百貨店では、客の消費マインドの上昇が予想される。		

百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が確実に進んでいくなかで、1年半にわたって続いた社会の停滞は徐々に緩和され、景気は回復に向かうと予想される。一方、変異株への対応が直近の課題となり、東京オリンピックの開催による感染状況への悪影響も懸念されるなか、全体的な回復には少し時間が掛かる。
百貨店（販促担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がっているほか、自粛慣れもあり、街の人出が回復している。外出したい欲求も高まることで、様々な消費意欲の上昇が予想される。秋の衆議院選挙に向けた景気対策にも期待できるなど、消費の機会をうまく提示することで、様々な商機を生み出せそうである。
百貨店（売場マネージャー）	・6月初旬から、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっている。特に、和歌山地区は全国的にも接種率が高い。これから消費者の外出機会は増え、百貨店への来店客も増えると予想される。それに伴い、小売業や製造業の景気も良くなっていく。
百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの変異株の世界的な感染拡大などが、景気回復のブレーキとなる可能性がある。一方、ワクチンの接種が国内で大きく進むことで安心感が広がるほか、各種のイベント再開による反動消費も、徐々に出てくると予想される。
百貨店（サービス担当）	・今のような水準で新型コロナウイルスの感染状況が推移し、ワクチン接種が順調に進めば、安全に外出できる環境が整う。また、東京オリンピックの効果や、物産催事の充実などで集客の増加につながり、売上が伸びると予想される。
百貨店（服飾品担当）	・徐々に来客数が戻り、関西での新型コロナウイルスの感染者数も減少しているため、夏以降は買上が少し戻ると予想される。ワクチン接種済みの客の来店も増えるなど、安心感が出てきており、百貨店の対策への信用度も上がってきたことから、来客数は増加傾向になると予想される。
百貨店（宣伝担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで、感染状況が落ち着けば、周辺の飲食店の営業時間が延び、街自体の人出が増える。来客数が増えれば、売上の回復も期待できる。
百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチンを接種する年齢層が広がることで、感染の抑制が9月頃には見込まれる。
スーパー（店長）	・東京オリンピックの開催による感染拡大の懸念が解消され、新型コロナウイルスのワクチン接種率がどこまで上がるかが鍵となる。梅雨明け後、東京オリンピック開催時期からお盆にかけて、人の移動が緩和されれば、これまでの反動もあって消費は上向き可能性が高い。
スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が増え、消費マインドは上向きことが予想される。旅行や行楽需要が出てくれば、全体に活気が戻ってくる。
スーパー（企画担当）	・地域の住民や、新型コロナウイルスのワクチン接種者への商品券の配布、キャッシュレス決済のポイント還元など、商圏内では各自治体による様々なキャンペーンが実施予定である。新店舗のオープンもあり、売上の増加につながるイベントも多いため、来客数を増やすことで更なる売上のアップにつなげる。
コンビニ（経営者）	・東京オリンピックが始まり、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むため、テレワークは減少傾向となる。現在よりも、来客数は10%ほど増える見込みである。
コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響はまだ続くが、ワクチンを接種する人も増え、人の活動も少し活発になると予想される。
コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進み具合で変化するが、各種の制限が少なくなれば、少し景気も良くなる。
衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、街の人出が増え、服を買う人も増える。
その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、以前のように気軽に買物してもらえるようになってほしい。来月はボーナス商戦もあるため、期待している。
その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種により、景気回復が進むと考えられる。東京オリンピックの開催後に緊急事態宣言が発出されなければ、緩やかな回復から大幅に改善につながると予想される。
観光型旅館（団体役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が若い世代まで進むと予想される。それに伴い、休止しているGo To Travelキャンペーンの再開が期待される。
都市型ホテル（販売促進担当）	・7月11日までは、まん延防止等重点措置の継続で動きはなさそうである。今後も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置、新型コロナウイルスのワクチン接種人数などの状況次第で、景気の好不調は決まる。今は先の宿泊予約も余り入らず、宴会や会議の動きもない状況である。ただし、客からの話をまとめると、感染収束後は一気に動き出す可能性がある。
都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染が収束すれば、抑えられていた観光需要が回復に向かう。ひとまずは東京オリンピックの成功が1つの鍵になる。
旅行代理店（店長）	・緊急事態宣言が解除され、夏の旅行の問合せや予約が少しずつ動いている。新型コロナウイルスのワクチン接種に伴い、旅行需要も徐々に回復することを期待したい。
その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種により、人流が活発になれば消費が増えるが、感染の収束時期がみえず、不透明感が拭えない。
その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むようであれば、人流が活発になると期待している。
住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がっており、人混みも増えてきている。このような状況を踏まえ、客も活発になっていく。
その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・高齢の客の間では、新型コロナウイルスのワクチン接種が完了した人も出てきた。一方、ワクチンを打っていない人の訪問拒否は今後も予想される。30～40代に接種の順番が回ってくるのはいつになるかは不透明で、接種がまだのため、仕事にも就けないといった雰囲気にならないか心配である。

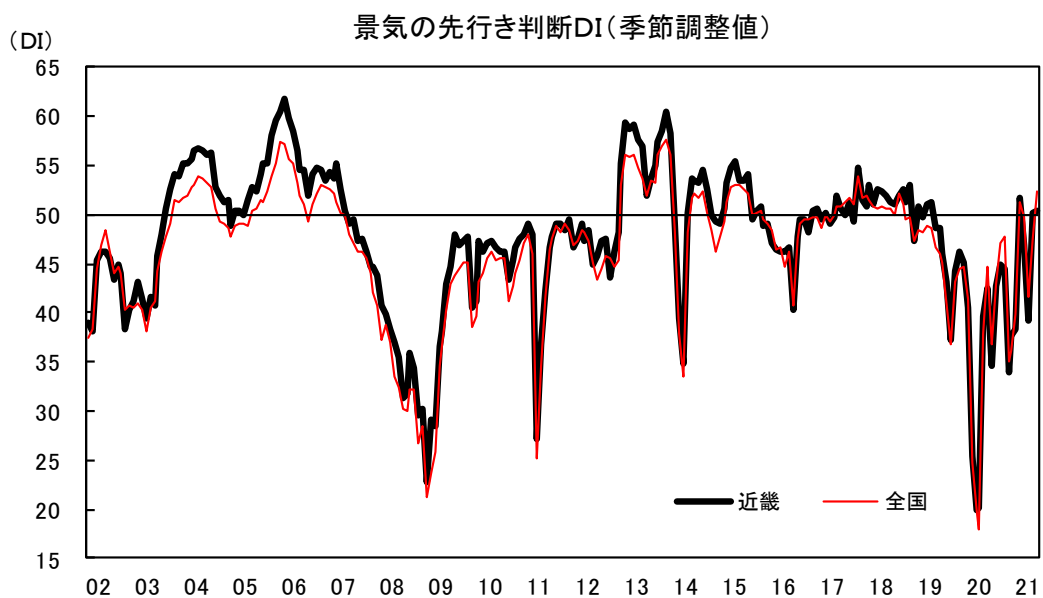
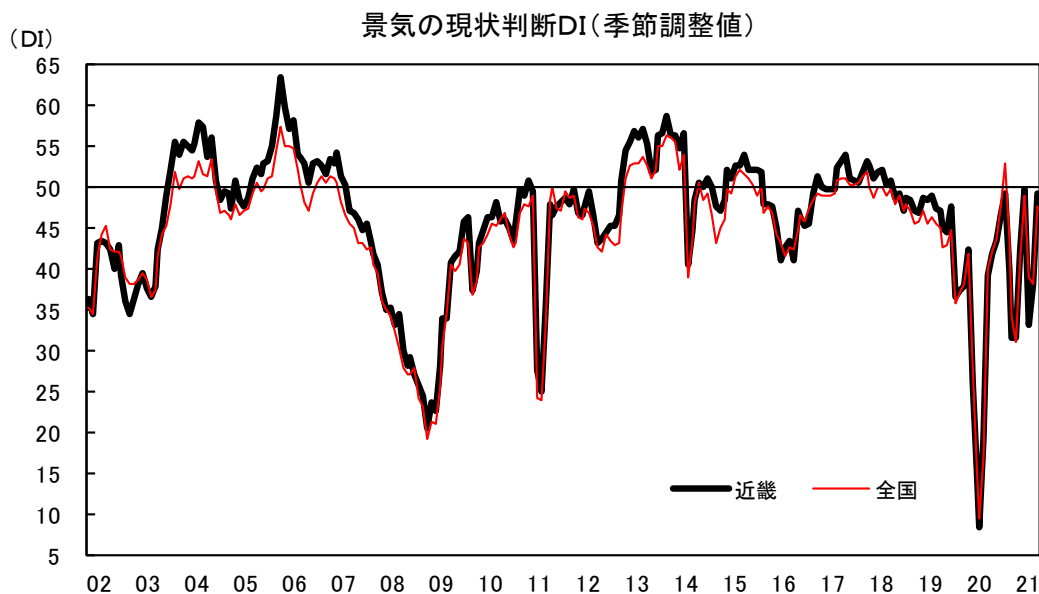
家計動向関連	変わらない	一般小売店〔呉服〕(店員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わったとしても、先行きが見通せないため、高額品の買い控えは当分続きそうである。
		百貨店(売場主任)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、休業などがなければ、客の来店は増えると思われ。ただし、客の生活様式は大きく変化しており、それに商品の提案が追い付いていない。また、取引先もかなり厳しい状況が続いており、新商品の開発や生産に慎重であるため、回復までには時間を要する。
		スーパー(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれ、高齢者層から中年層へと安心感が広がっており、来店回数の増加が期待される。今後は外食や外飲みが増える可能性はあるが、コロナ禍で家庭での調理や、家族との食事の良さが見直されたことで、以前のような状況には戻らない。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加すれば、政府が抑制を図ると予想される。結果として、ワクチン接種の効果が出てくるまでは、状況は大きく変わらない。
		スーパー(販売促進担当)	・全体的な景況感が上昇するとは思えない。新型コロナウイルスのワクチン接種の状況などに応じ、外食や観光、小売の間での、需要のシフトが予想される。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチンが行き届くまでは、今の状況が続く。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種がようやくスタートし、コロナ禍も少しずつ収まっていくが、企業での在宅勤務やリモートワークが定着しているため、ビジネス街での労働者の数は、以前の水準には回復しないと懸念している。
		乗用車販売店(販売担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んできたものの、治療薬の開発が進まなければ、景気の回復は手放しに期待できない。
		その他専門店〔宝飾品〕(販売担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、先に売上に変化が出るのは百貨店やスーパー、商業施設などとなる。様々な先行き不安もあって宝飾品の購入の優先順位は低く、外出機会や着用機会そのものが増えなければ、来客数や売上の増加は望めない。
		その他小売〔インターネット通販〕(企画担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大による、社会の不安解消を期待したいが、政府の計画どおりに進むかは不透明である。
		一般レストラン(企画)	・緊急事態宣言の解除後、新型コロナウイルスの感染者数がまた増加に転じつつあり、先行きが全くみえない。ワクチン接種率が上昇して経済が継続的に動き出すまでには、年内一杯は掛かることが予想される。
		観光型ホテル(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種により感染が収束する期待はあるが、また新しい感染の波が来れば、希望は持てない。
		観光名所(経理担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるが、2回の接種が完了している人はまだまだ少ない。さらに、ワクチンを接種したからといって、感染しないわけではない。夏休みを挟んで、感染者数は今よりも増えることが予想される。
		ゴルフ場(支配人)	・新型コロナウイルスのワクチン接種、東京オリンピックの開催で、2～3か月先の景気は変わってくる。
その他レジャー施設〔複合商業施設〕(職員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の加速と、変異株による感染の再拡大の状況次第である。秋以降の本格的な回復を期待している。		
やや悪くなる	悪くなる	美容室(店長)	・高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種が終わっても、実際に来客数が増え始めるのは、秋口以降と予想される。
		その他住宅〔情報誌〕(編集者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の加速により、外出や飲食、旅行機会の増加につながる。巣籠り消費の代表であった住宅の購入は、全体的に減少すると予想され、市況の悪化に対する懸念が強い。
		衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が増えれば、客足が遠のく。ワクチン接種についても、東京オリンピック・パラリンピックが終わればスピードが鈍ると予想される。景気の回復は早くても10月で、秋物商戦からの改善に期待している。

「東京五輪」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	やや良くなる	百貨店(商品担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が確実に進んでいくなかで、1年半にわたって続いた社会の停滞は徐々に緩和され、景気は回復に向かうと予想される。一方、変異株への対応が直近の課題となり、東京オリンピックの開催による感染状況への悪影響も懸念されるなか、全体的な回復には少し時間が掛かる。
		百貨店(サービス担当)	・今の水準で新型コロナウイルスの感染状況が推移し、ワクチン接種が順調に進めば、安全に外出できる環境が整う。また、東京オリンピックの効果や、物産催事の充実などで集客の増加につながり、売上が伸びると予想される。
		スーパー(店長)	・東京オリンピックの開催による感染拡大の懸念が解消され、新型コロナウイルスのワクチン接種率がどこまで上がるかが鍵となる。梅雨明け後、東京オリンピック開催時期からお盆にかけて、人の移動が緩和されれば、これまでの反動もあって消費は上向き可能性が高い。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの変異株の感染者数が増えれば、状況は予測不能となる。今の状況で東京オリンピックが開催されるため、感染者数の増加が予想されるが、今後は経済を回す方向で対策が進められるため、少しは良くなると予想される。
		コンビニ(経営者)	・東京オリンピックが始まり、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むため、テレワークは減少傾向となる。現在よりも、来客数は10%ほど増える見込みである。
		コンビニ(店長)	・緊急事態宣言が解除されて、東京オリンピックが開催され、人の流れが活発になることで、景気は良くなる。
		その他専門店〔医薬品〕(管理担当)	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種により、景気の回復が進むと考えられる。東京オリンピックの開催後に緊急事態宣言が発出されなければ、緩やかな回復から大幅に改善につながると予想される。

家計動向関連	やや良くなる	都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染が収束すれば、抑えられていた観光需要が回復に向かう。ひとまずは東京オリンピックの成功が1つの鍵になる。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの感染が拡大することなく、東京オリンピックを乗り切ることができれば、客の間に旅行に行く意識が芽生えると期待される。今はとにかくきっかけが必要で、消費者は様子見をしている状況である。
		テーマパーク（職員）	・東京オリンピックが始まることで、人の移動が活発化すれば、来場者の動きにも変化が出ると予想される。
	変わらない	一般小売店〔時計〕（経営者）	・東京オリンピックの終了時期となるが、状況は全く読めない。日本人選手の成績が良かったとしても、一部では雰囲気は良くなるが、全体としての景気が良くなるとは思えない。地域密着型の店として感じることは、果たして人の流れが通常に戻るのかが不透明である。新型コロナウイルスの変異株の感染リスクに正面から向き合うことが、当面の課題であり、大きな懸念材料でもある。
		コンビニ（店長）	・東京オリンピックに期待していたが、事前の盛り上がりを感じられないため、開催されたとしても変わらないと予想される。
		ゴルフ場（支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種、東京オリンピックの開催で、2～3か月先の景気は変わってくる。
	悪くなる	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・東京オリンピック以降の新型コロナウイルスの感染状況が全く予想できず、場合によっては、また緊急事態宣言が発出されるかもしれない。感染者数が増えれば人出も減るなど、不安要素ばかりが増えていく。数か月後の景気に光は全くみえず、感じることもできない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えれば、客足が遠のく。ワクチン接種についても、東京オリンピック・パラリンピックが終わればスピードが鈍ると予想される。景気
		一般レストラン（経営者）	・東京オリンピック以降、新型コロナウイルスの変異株の感染が拡大し、ますます感染者数が増える。今年一杯はかなり厳しいと予想される。
企業動向関連	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるほか、東京オリンピック・パラリンピックの開催も確実となっている。ただし、デルタ株に代表されるような変異株の感染拡大には、注意が必要である。
	変わらない	金融業〔投資運用業〕（代表）	・今は正に、景気が浮揚するか減退するか岐路に立っている。全ては東京オリンピックの成否にかかっており、イベントとして成功しても、新型コロナウイルスの感染が拡大すれば、東京オリンピックが原因ということになる。また、秋の衆議院選挙に向けて、政府は何とか経済にプラスとなるような対策を打つと予想され、それが奏功するか否かが、景気を左右することになる。
		司法書士	・新型コロナウイルスの変異株に加え、東京オリンピックによる感染拡大をワクチン接種でどれくらい抑えられるかによるが、厳しい状況になると心配している。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・7月は東京オリンピックに向けてテレビの需要が見込まれるが、8月以降はその反動による落ち込みが懸念される。
雇用関連	やや良くなる	人材派遣会社（役員）	・東京オリンピックの開催や、新型コロナウイルスのワクチン接種の増加を見込み、景気が良くなることを期待している。
		新開社〔求人広告〕（管理担当）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も急速に増えている。ワクチンの接種がこのまま順調に進み、東京オリンピックの開催が現実となれば、景気は上向くと予想される。ただし、東京では人流が増え、感染者数が再び増え始めている。緊急事態宣言が発出されるようなことになれば、景気は腰折れする可能性がある。
	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進行や、東京オリンピックの開催による人流の増加が予想される。それに伴って企業活動も活発化するため、今後の回復が期待できる。	
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピックによる効果が、マイナスとプラスのどちらに転ぶかで変わる。	

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		19年						20年						21年												
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
現 状 判 断	近畿	47.1	45.1	44.6	47.6	36.5	37.4	38.0	42.4	26.1	14.7	8.3	19.6	39.3	42.0	43.4	46.7	49.2	39.9	31.7	31.7	42.4	49.8	33.3	38.2	49.3
	(全国)	45.1	42.7	43.0	44.9	35.9	37.2	38.3	41.9	27.9	14.9	9.4	17.0	40.0	42.2	43.7	47.8	53.0	43.8	34.3	31.2	41.3	49.0	39.1	38.1	47.6
先 行 き 判 断	近畿	48.6	45.9	43.2	37.2	44.2	46.1	45.2	40.4	25.3	20.0	20.2	39.6	42.5	34.6	42.8	44.9	44.4	33.9	37.6	38.4	51.6	46.9	39.2	50.1	50.3
	(全国)	46.0	45.1	40.9	36.8	43.1	44.5	44.6	41.4	24.8	19.8	17.9	37.9	44.6	36.7	42.9	47.1	47.7	35.0	36.1	39.9	51.3	49.8	41.7	47.6	52.4